

クラブ ファンタジーだより

No. 33 2007・4



「あいさつ」



会長 岡田 晴美

今年も神戸女学院に相應しい学生達を迎えて、岡田山も一際、華やいで参ることでしよう。

二〇〇六年は音楽学部創部百周年を迎え、学院では種々の行事が催されました。M53那須美恵子先生(元、音楽学部教授、ピアノ)の講演会では、頭脳明晰でユーモアのある楽しいお話に加え、心が伝って参ります素晴らしいピアノ演奏も聴かせて頂き、93才というご年齢を、とても信じる事が出来ませんでした。そして創部百周年記念式典は院長先生をはじめ、お祝いと歴史をお話しく下さいました先生方のお言葉に、参加された多くの卒業生と共に、長い歴史と立派な伝統に思いを馳せ、神戸女学院で学ばせて頂いたことを感謝し

た有意義な秋のひと日でございますました。

十二月の定期演奏会は、兵庫県立芸術文化センター大ホールにおいて催され、音楽学部は総力を挙げて、見事なベートーヴェン交響曲第九番を演奏してくださいました。

さて毎年のようにご報告して参りました大澤壽人先生(元 音楽学部教授、作曲、指揮)の全作品とご遺品を、ご長男、大澤壽文氏のご厚意により神戸女学院へ寄贈頂き、二〇〇六年夏、図書館の一室に納められま

した。学院が、この貴重な財産を持つことが叶い、卒業生は大きな誇りを感じます。先生の作品は国際的にも益々評価が高まり、今年もCDが世界にリリースされる予定で、M92生島美紀子先生が図書館の依頼により全作品の整理をご奉仕くださっております。(5頁参照)

なお、静岡の「ゆうゆうの里」で、お健やかに過ごしの野崎住子先生(名誉教授、声楽、M43)を、M63石井ルリ子先生(香川県音楽連盟会長)とご一緒に昨秋お訪ね致しました。百一才で

耳がご不自由になられ、筆談致しましたが、熱心なクリスチャンで、清潔な毅然とした先生の面影は昔のまま。何時までも、お元気でお願いしながら帰途に着きました。また、クラブファンタジー賞は、今日まで十六名の受賞者を出しましたが卒業後も研鑽を続け、活躍する方が多く、今後より一層、飛躍して下さることを心から願って、卒業後のコンサートを少しでもお手伝いして参りたいと存じております。皆様も何かとご助力賜りますようお願い申し上げます。

クラブファンタジー賞



M124 川勝さちこ(Or)

この度、このような素晴らしい賞を頂戴し、驚きと同時にお世話になった方々への感謝の気持ちでいっぱい

です。あつという間の四年間でしたが、美しいキャンパス、少人数制での授業、他学部の人との交流など、様々な角度からアプローチ出来たことが私にはとても勉強になりました。

特に音楽学部での講義は、普通科から進学した私には全てが新鮮でした。力のなさに落ち込んだ時もありましたが、尊敬する井上圭子

先生をはじめ、熱心に指導して下さいました先生方や先輩方、応援してくれた両親、楽しい友人達、事務の方々、警備員さんまで、言い出せばきりが無いほど多くの人に支えられ励まして頂きました。この場を借りて、本当に心からお礼を申し上げます。たいと思います。まだまだ本当に未熟者ですが、今は大好きなオルガンに出会わせて下さった神様に心から感謝しています。これからも頑張ります。本当にありがとうございます。

音楽による
不思議な出会い

M53 那須美恵子

音楽学部開設一〇〇周年記念に一時半の講演を十月七日に講堂でして下さいとの光栄な電話が松澤院長から……。

このおとなしい私(?)に何故とびっくり致しましたが大役がすんでヤレヤレのところへ、その講演をCDだよりに一五〇〇字でとの岡田様の電話、文章を通しての皆様との出会いをうれしく存じます。

神戸女学院に入学以来、将来は中学校の英語の先生になりたいと思って居りました卒業も近い或る日、ピアニストの親友が私の袖を引張って、しきりに「音楽部へ行こう」と繰返しました。そこへ丁度通りかゝられた音楽の先生が「那須さんは勿論音楽部でしょう」と。思いがけない先生のお声にびっくり致しましたが四月から音楽部生となった

私でした。

当時の音楽部は大阪生れのデフォレスト院長が音楽部長を兼任、アメリカから帰られた藤田主事、声楽科の野崎教授、ピアノ科では廣田、横山、白系ロシヤの貴族フツエフ、ドイツからのビクトリウス各教授、フランス帰りの林バイオリン科教授、オーストリアの作曲家・指揮者のラスカ教授がコースと楽式論和声学をの国際色豊かな職員室に生徒数五〇名の家族的な音楽館でした。

卒業後音楽部で十三年教えてシカゴに留学の時ポランド人の女流ピアニストからレッスンをうけました。が、先生のショパン曲演奏が何となく違うのはポーランドの血の流れでしょうか。マズルカのリズムが分ればショパンのスタイルは分ると細々と教えて下さいました。

夏の間のシカゴ郊外ラビニア演奏会場(小澤征爾が五年間この交響楽の指揮者)にDr.ガッツが来られる

ので紹介して上げると招待下さいました。日本で「二十の大ピアノストは語る」の本を読んで覚えて居りましたし音楽辞書にもお名前のある音楽家に会えるとは!!! 偶然その時に勉強中の曲は「深夜後に」とのガッツ作曲の難曲。「貴女は何を弾いていますか?」「先生



作曲の深夜後にです」先生は二本指で私の肩を叩いて「貴女はそれを弾いてはいけません??? 貴女はベッドの中に居る筈です」

(大笑)

毎年二月二十四日先生のお誕生日に先生の作曲対談が放送されます。一ヶ月前Mrs.ガッツは百一才で他界されましたが私共に親しくし

て頂けて幸せな出会いです。

ミシガン湖畔の食堂でお行儀のいい坊ちゃんと共の御家族。ふとこちらを向かれたのは廣田先生のお孫様と曾孫様。昨日引越して来たのでピアノとバイオリンのレッスンをお願いしたいとのこと。廣田先生が生きていらしたらどんなにかお喜びでしょうと感激でした。

シカゴの日本国総領事として来られた志水氏の御夫人は何と神戸で六才の妹さんを連れて毎週レッスンに來られた方!音楽部出身の城節子さんのお姉様との再会はたのしいでした。

神戸女学院のことが新聞記事に出来ますと必ず送つて下さる方(理科教師をしていた妹の生徒さん)のお便りの中にラスカ先生のことを御研究の教授の記事がありました。今頃はラスカ先生を御存知の方は少ないでしょう……と。ラスカ先生の弟子でありラスカピアノ曲集を持って居り、ラスカ先生を今一番よく御存知の野崎先生を御紹介したく思い

Profile

米国ロスアンジェルス郊外生れ。9才の時に東京へ。神戸女学院高等女学部を経て、神戸女学院音楽部師範科(ピアノ科)卒業後母校音楽部でピアノを教授。米国ノースウエスタン大学大学院音楽学校へ留学中、シカゴキリスト組合教会ピアニストとして奉仕。シカゴにてKobe College Corporation 理事を15年務める。シカゴ音楽家協会理事、コンクール審査員、課題曲選考委員を歴任。現在もシカゴにて65ヶ国の人たちを指導している。

きつてこの教授に手紙を出しました。行届いた教授はラスカ御令息に会われ私共を紹介下さり、神戸時代の父を知りたいと私共をウィーンに招待下さり、この教授と御一緒にラスカ先生のお墓参りの出来たことは感激でした。この教授は大阪大学大学院文学部の根岸一美教授。

根岸先生とのたのしい出会いは九年目を迎えます。

音楽学部開設百周年記念事業

音楽学部百周年記念講演会

西島 安則氏

「美と知を楽しむ心」

2006年6月24日(土) 13時30分～ 講堂

ミニコンサート

ヴァイオリン

ピアノ

辻井 淳

小幡麻紀

那須美枝子氏

「音楽による不思議な出会い」

2006年10月7日(土) 14時～16時 講堂

ミニコンサート

ピアノ

藤本真基子

小池 泉

島 敏子

音楽学部百周年記念演奏会

サマーコンサート

2006年6月27日(火) 18時45分～

伊丹アイフォニックホール

オータムコンサート

2006年10月5日(木) 18時30分～

宝塚ベガホール

定期演奏会

ベートーヴェン「第九」

2006年12月5日(火) 19時～

兵庫県立芸術文化センター 大ホール

X'mas オルガン演奏会

2006年12月8日(金) 10時35分～11時25分

舞踊専攻第一回公演

2007年2月14日(水)～16日(金) 19時～

ミリアム館

17日(土) 18時～

18日(日) 14時～

18日(日) 18時～

百周年記念誌

「新しい歌をうたおう」

音楽学部百年のあゆみ発刊

卒業生には音楽学部より無料で四月送付の予定

神戸女学院大学音楽学部 開設100周年記念式

2006年10月20日(金) 講堂

司会 音楽学科長 若本 明志

前奏	J. S. Bach: Toccata F-dur BWV. 540	卒業生	片桐 聖子
賛美歌	「私の神に近づかん」	—	同
聖書	マタイによる福音書 22:34～40	—	—
祈禱	チャブレン	飯田 謙	—
院長のことば	チャブレン	飯田 謙	—
学長のことば	理事長院長	松川 澤	員 真一郎
学院歌	—	学長	川 合
講話	—	—	—
独唱	歌ごえあわせ 神をたたえん 100周年記念誌編集委員	若山 晴子	—
独唱	R. Strauss: Als mir dein Lied erklang	ソプラノ卒業生	岡田 実里
	ピアノ卒業生	岡田 実里	川 千佳
感謝のことば	クラブファンタジー会長	岡田 晴美	—
	音楽学部長	澤内 崇	—
記念歌	Beauty Becomes a College	—	—
	ピアノ 澤内崇	—	—
祝後	奏	—	—
	A. Guilmant: Grand Choeur in D Major	—	—
	—	片桐 聖子	—

卒業にあたって

M124 嶋田友里恵

時が経つのは早いもので、
 憧れていた女学院の門をくぐった日から四年が経ちました。大学生活で学び得たものは数え切れない程ありますが、全てが忘れられない思い出となり、宝物となりました。先生方をはじめ多くの方々に支えられ、卒業を迎えられることに心より感謝致します。

いつも温かく御指導してくださる先生方、そして互いに励まし合い共に頑張ってきた友人に勇気づけられ、この四年間で大きく成長することができたと思います。大学生活では、ソロリサイタル、クリスマスス礼拝や定期演奏会など様々な場で、心から拍手をもらった時の感動は一生忘れることができない思い出となりました。女学院で学んできたことを糧に、これからも何事にも前向きに挑戦し、いつも輝ける自分でいられるように努力していきます。

お慶び

石黒晶教授

「紀伊の国のうた拍子」第17回朝日作曲賞佳作

M97

石井なをみ (P)

06年度全日本ピアノ指導者協会指導者賞

第16回日本クラシック音楽コンクール

優秀指導者賞

林 美枝 (Cem)

06年度ブルージュ国際古楽コンクール名

誉賞

M116 岡本 寿美

第19回和歌山音楽コンクール声楽部門(一般の部) 第二位

M119 川原 道子 (P)

第7回大阪国際音楽コンクール2台ピアノ部門第一位

M121 和田紗矢香 (P)

第17回堺ピアノコンクール山田康子賞

M122 鬼一 薫 (Vo)

第43回なにわ芸術祭新人賞

M123 三浦 夏実 (P)

第18回宝塚ベガ音楽コンクールピアノ部門第三位

M123 院7

第18回宝塚ベガ音楽コンクールピアノ部門第三位

音楽学部舞踊専攻

ワンダーランド・

ミリアム館



舞踊専攻客員教員

村越 直子

キャンパスの隅に近いミリアム館。島崎教授の熱弁にサラ・シユガーマンというカナダ人の伴奏者がさらに勢いをつけてくれたのスタート。出だしからパッションが満タンで親密感想像以上、生徒達も我々指導者も本当にいい四季を過ごしてきたと思う。五月の大連休に、彼女達は「このながい休み要らないよ」と言う。踊れない日々が続く夏休みや冬休みにはスタジオの開放を懇願する。一年間ずっと、時間外にスタジオで練習する生徒の姿を見てきた。彼女達を思い真摯に享けてたつ責任がある

と、自分の姿勢を正す。もつと時間が欲しいと欲を出せばきりがないけれども、教師として願っていたら個人個人をじっくり指導できる環境がここにはある。

私は未来に向けて舞踊専攻が学内で、そして外に向かつての創造エネルギー発信源になれる可能性は大と期待する。夏の講習会ではサラと石黒晶教授とのコラボレーションが実現した。振付と同時進行でオリジナル曲が書かれ、島崎作品を生演奏と共に、女学院受験希望者や知人、関係者に披露した。サラの下でダンス伴奏者としての修行を積み始めた大野清君は毎日スタジオに入り、生徒とは別の角度からダンスを見つめ続けていた。クリスマス礼拝で彼は指揮の中村教授からお声を掛けていただき、打楽器奏者として素晴らしい経験をさせて頂いた。仲間として舞踊専攻全員が彼の晴れ姿をとて誇らしく思えた。後期からは二名の新顔が加わった。アメリカからケイトリン・コッカーがフ

ルブライト奨学金を得て来日、舞踊専攻で学んでいる。サラの後任として福岡からいらした伴奏ピアニスト、平山光太郎さんもわざわざ居を移してくださるほどの熱の入れようだ。島崎教授は新春アントワープのロイヤル・ワンダースバレエ団に新作「Eyes in the sky」を振付、二〇世紀を代表する振付師バランシンとキリアン二人の作品と並んで初演され総立ちの喝采を浴びた。その制作チームの衣装デザイン朝永靖子さん、照明の松浦真也さんは二月の舞踊専攻公演でもお力添え戴き、ゲスト男性ダンサーを加えた豪華キャストで学生達は堂々と島崎教授の作品を踊りきった。

色では決して無いだろう。彼女達は徐々に自分の皮を剥ぎ、内側の色調を少しずつ見え隠れさせているから。二〇一〇年早春に全員一緒に卒業する時こそ、きつと十五色が錦のような艶やかさで光解き放っているだろうと確信し、それを想像するだけで、私の目はうるうるとしてしまう。これから舞踊専攻ワンダーランドに予期せぬ出来事が起こったり、逆境があつたりしても大丈夫。私の好奇心が毎春ごとに入學してくるピンクのチークに駆り立てられ、共に前進するエネルギーは廃れない。

舞踊専攻 第一回公演

2007年2月14日(水)~18日(日) ミリアム館

第一部 Class at 6:00p.m.

一年間に学んだグラハムテクニックの基本のデモンストレーション

構成・振付・演出 村越直子

第二部 Here we are!

構成・振付・演出 島崎 徹



村越直子プロフィール

トロント・ダンス・シアターに1992年に入団、団員として国内外での公演活動の後、2000年よりフリーのダンサー・コレオグラファーとしての活動と併せ、ヨーク大学芸術学部ダンス学科で後進の指導を始める。ダンスとSomatic Workの相互関係に強く関心を持ち、姿勢法として注目されるミツヴァ・テクニック教師の資格を得て指導も行っている。現在劇団Volcanoのサウンドポエトリー、ダンス、アニメーションを融合したアバンギャルドな作品「Four Horsemen Project」に参加の為、準備中。神戸女学院客員教員。

注・ミリアム館
舞踊専攻レッスンスタジオ
元学生寮 食堂兼集会室

煌きの軌跡

—「大澤壽人遺作

コレクション」—



M 92 生島美紀子

昨年八月、神戸女学院に贈られた素晴らしいプレゼントについて、皆様にご報告いたします。

一九四〇〜五〇年代に音楽学部で教鞭をとられた大澤壽人（おおさわ・ひさと、一九〇七〜五三年）教授の遺品資料が、ご長男壽文氏から寄贈されました。資料は図書館・史料室・音楽学部が中心となって受け入れ、学院では濱下昌宏図書館・史料室長（当時）等による委員会によって「大澤壽人遺作コレクション」と正式に名づけられ、現在は図書館本館に近い閲覧室に収められています。

大澤先生は、一九三〇年代に留学先のボストン、パリなどで作曲家・指揮者として認められ、世界の楽壇で活躍された輝かしい音楽家でいらつしやいました。帰国後は神戸女学院に奉職され、多くの先輩方を育てられたと同時に、ラジオや映画音楽まで幅広い活動を繰り広げておられました。四十六歳で急逝なさいました。近年再び注目を集めるようになってきたとはいえ、先生には長い間正当な評価が伴わず、寄贈の経緯も簡単ではありませんでした。直接の教え子の一人である岡田晴美会長のご尽力があつて、学院は世に誇るべき宝を頂戴するに至つた次第です。

「遺作コレクション」は質・量共に、まさに圧倒的と言えましょう。自筆譜・演奏会プログラム・ポスター・新聞評・書簡・写真・ノート・録音テープ・指揮棒などが揃い、とりわけラック三台に積み上げられた膨大な自筆譜は、作曲家の足跡をたどる上で大変に貴重です。先生の自筆は美しく、端正な筆致は楽想の定着の速さを映し、創作時の息遣いが聞こえるかのよう。大作から小品・編曲まで、総数にして五百から千はあろうという作品群を前にすると、才能の煌きと業績の偉大さに改めて見上げる思いがします。自筆譜整理と作品カタログ作成は昨秋から始まりました。創作から半世紀以上を経た現在、総ての作品について確認作業が必要です。その第一期は、創作活動全容の大まかな把握。第二期は、楽譜情報の詳細な読み込み。並行して第三期は、関連事項の調査とカタログのコンピュータ入力。そして第四期に、総作品の総頁のスキヤナー取り込み。これらの段階を経て自筆譜は中性紙に包まれ、学院に保存されます。作業は増永智子さん（M120）の協力を得て急ピッチで進んでいますが、ボランティアでお手伝い下さる会員の方がいらつしゃれば有難く思います。今年は大澤先生の生誕百

年。また昨年は音楽学部創設百周年でした。この節目の時期に、調査・研究を通じて私たちの先生の輝かしい音楽人生、その煌きの軌跡をたどり、作品カタログ刊行によつて「大澤壽人、岡田山にあり」と発信できれば、卒業生としてこんなに嬉しいことはありません。十二月四日、県立芸術文化

めぐみ会通信

二〇〇六めぐみシリーズ講演会の第一回（六月二十二日めぐみ会館にて）にはかつてめぐみ会奨学金を受けられたM100岩田朋子さんM114稲葉綾さんのピアノ・ジョイントコンサートが開かれ大好評でした。

又、十二月六日には、めぐみ教育基金にて招聘の舞踊専攻客員教員村越直子先生の「姿勢法について」と題した実演を伴つた講演会が行なわれました。お話に先立つて舞踊専攻の学生お二人がそれぞれ踊りを披露

センターでの音楽学部定期演奏会には大澤先生二十九歳の作品《バイオリン小協奏曲》が演奏される予定です。ごぞつてお出かけ下さい。

ボランティア募集
「大澤壽人遺作コレクション」整理作業にご奉仕下さる方は生島まで

してくださり、楽しく有意義なひとときでした。

めぐみ会館一階集會室には、ヤマハピアノS6Aが設置されています。ミニコンサート・発表会・リサイタルの練習などにぜひご利用ください。

めぐみ会「社会活動ネットワーク」にピアノ・ヴァイオリンその他の先生の紹介依頼が各地であります。活動提供者として登録をお願いいたします。

詳細はめぐみ会まで。
TEL 0798(51)3545
http://www.megumi-kai.or.jp

三十二年間を 振り返って



音川 紘一

神戸女学院にお勤めをして三十二年が過ぎた。長いようで、短かかったようにも思う。最初のうちは慣れないことも多かった。でも段々になれたようだ。辛かった事と言えば一九八五年に腰痛をしたことがある。第五腰椎分離症、十日間絶對安静、一ヶ月自宅療養、半年間は思うように歩けない状態で通勤、常にクツションを持ち歩いた。完全復帰までに三年かかった。一九九二年度には岡田晴美先生よりご指名を受けて伴奏法の授業を受け持った。教育実習には必修となっていた関係で履修学生も多かった。私はドイツ歌曲はと

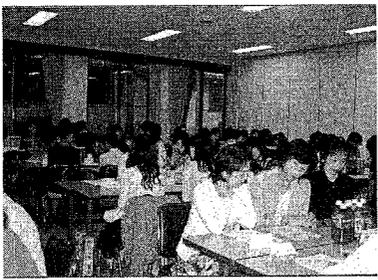
ても関心があったけれども歌詞が問題だった。毎週一生懸命歌詞を訳するのに時間を費やした。そして「一字一句でも分からない言葉があつたら面倒がらずに辞書をひく」ことをモットーにした。大変だったがこのことが切っ掛けで学生時代にやったドイツ語をもう一度勉強しようという意欲が出た。良かったこと。一九九三年より一年間ドイツ・ハノーバーの国立音大に留学出来たこと。少し前から一回神戸女学院に来て下さっていたK・マイスター先生にピアノを教わる為に聴講生となつて渡独した。マイスター先生から習った重力の差による音量変化のピアノ奏法はそれまでの表現力をさらに進んだものにしてくれた。また先生は以後数年に亘つて毎年四月に来日して女学院や私の家で私や生徒達にレッスンをして下さいました。先生とのお付き合いでドイツ語の勉強もまた出来たと思う。残念ながらマイスター先生は先年亡く

なられている。一九九五年には阪神大震災が襲った。わが家は幸いにも家族は全員無事だった。住宅もなんとか無事に済んだ方だった。そして九六年には我が家に念願の音楽室が出来た。十五人ぐらいのお客様に入ってもらつてピアノコンサートが出来る部屋が出来たのだ。天井も吹き抜けの部分があり音響もいい。この部屋で私は定期的にコンサートを始めた。私のピアノの勉強は五〇歳頃から暗譜の能率が良くなり新しいレパートリーを増やすことも楽になつて来ていたので年三回ステージをやることにして現在に至っている。最近ではベートーヴェンのピアノソナタ連続コンサートが続いている。十二回シリーズで今、丁度半分が終わつた所だ。女学院の学生のレッスンも矢張り年と共に慣れて来たようだ。ピアノメイジャー以外に私は室内楽の授業も着任以来続けて来た。現在も履修する者は多くピアノデュオの授業を

やっている。話は変わつてオルガンのことになるがここ四年間私は礼拝でオルガンを弾いて来た。定年退職された前中先生の代役としての演奏である。前奏、後奏、賛美歌その外、レスポンス等。慣れないとミスも起こる。レスポンスをフォルテ鍵盤で弾いてしまったこともあった。でもパイプオルガンが弾けて良かった。女学院での思い出は数限りなくある。三十二年間が矢張り短く感じられる。これはきっと在任中、私にとっても幸せだったからだろう。神戸女学院に心から感謝します。有り難う御座いました。

クラス委員総会・ 新入会員歓迎会報告

昨年五月十三日(土)午前十一時より、めぐみ会館一階集會室にてクラス委員総会・新入会員歓迎会が開かれました。
開会礼拝、会長挨拶に続き、澤内崇音楽学部長、若



本明志音楽学科長の両先生方から、開設百周年を迎えた音楽学部の記念行事や、新しく開設された舞踊専攻の授業の様子などを紹介していただき、一同興味深くうかがいました。その後、新入会員としてお招きした一昨年度と昨年度の卒業生を皆様にご紹介し、拍手を持つて歓迎致しました。新旧理事および監事の紹介、二〇〇五年度事業報告・会計報告、二〇〇六年度行事予定案内と質疑応答の後、昼食となりました。サンドイッチをいただきながら、各テーブルで話し込み、和やかな雰囲気の中に午後一時閉会しました。出席者八九名(うち新入会員十二名)。

追悼

名誉教授

古武 滋野先生



追想 M 82 興地節子

私の母、古武滋野は二〇〇六年十二月十五日の早朝、九十二才の生涯を終えまし...

た事がなく、活動の拠点は常に甲東園にありました。娘の私も、結婚後、東京に...

若い頃の母は子供の目から見て、生き生きとして、おしゃれで、特にヴァイオリンの演奏を頼まれると、...

七十二才になったある日、「もうヴァイオリンは止める。」と云い「余生は好きな事をする。」と毎日俳画...

ヴァイオリンを教える事に生き甲斐を持ち、幸せを感じるといつも云っていた母、母の愛用した楽器は私...

プロフィール

神戸女学院高女部4年の時(昭和6年1月18日)に新交響楽団(現NHK交響楽団)の定期演奏会でソリストを務めて東京デビュー...

つつ確信にも近いものが涌いて来るのを感じます。



1963・12・19音楽学部クリスマスコンサート(於サンケイホール)ブルック: ヴァイオリン協奏曲 Op. 26

ご寄附

- M 53 那須美恵子様
M 62 那須 佑子様
M 63 津田滝恵様ご遺族
M 68 細見みき様ご遺族
若本 明志先生 一万円
澤内 崇先生 一万円
ル・トレエフル 一万円
以上六件のご寄附を頂きました。
厚く御礼申し上げます。

永眠会員

- M 62 福井美枝子 03・7・31
M 76 石橋ちどり 05・9・18
M 73 春名和子 06・2・11
M 49 中山道子 06・4・7
M 98 谷川美千代 06・4・16
M 62 入江佐代子 06・5・18

クラブファンタジーの夕べ

2006年11月6日(月) 於：いずみホール

2006年11月6日 いずみホールにて「クラブファンタジーの夕べ」を、神戸女学院教育振興会と(社)神戸女学院教育文化振興めぐみ会の後援を頂きまして開催致しました。

出演者の皆様は、本当にすばらしい演奏をご披露下さり感謝致しております。

尚、収益金のうち一部を神戸女学院教育振興会に寄付させて頂きました。この演奏会を、全会員の皆様方と共に盛り上げていく事ができます様これからも皆様方のご協力、ご支援をお願い致します。



F. ショパン	アンダンテ・スピナートと華麗なる大ボロネーズ op.22	丸尾喜久子 「小さいうた」～ヴァイオリンソロのための～
	ピアノ：森玉 美穂	I 柿の木
G. ヴェルディ	悲しみの聖母様 ストルネッロ 恋はバラ色のつばさに乗って	II からす
	ソプラノ：鄭 里花	III 月
	ピアノ：蛭川 千佳	IV 夜行バス
J. S. バッハ	コラール “装え、おお、愛する魂よ”	V たぬき
猪本 隆	オルガンの為の《祈り Gebet》	ヴァイオリン：菊本 恭子
	オルガン：追中 宏美 (アシスタント：川勝 さちこ)	F. ショパン ノクターン op.9-3
		A. スクリャピン ソナタ第2番「幻想ソナタ」作品19
		ピアノ：葛本 博美

ハンナ・ギューリック
スエヒロ賞
M124 城 沙織 (P)

ハンナ・ギューリック
スエヒロ記念賞(大学院)
M122 院6 平賀 理絵 (P)

2007年度 クラブファンタジーの夕べのお知らせ

11月12日(月) 午後7時 いずみホール

出演者

M93 道 幸 明 美 (Va)	M113 林 美 枝 (Cem)
M93 有 澤 智 美 (Vn)	M117 鈴 木 さやか (Vo)
M101 熊 谷 啓 子 (P)	M119 細 田 紗 希 (P)
M108 添 田 ゆ み (P)	

思い起こせば



M 88 松永みどり

思い起こせば、私がヴァイオリンを好きだからと言う理由だけで今もまだ音楽の世界に身を置いていられるのは幸せです。

子供の頃にヴァイオリンを始め、長谷川孝一先生に師事するようになり、大学受験では先生の指導を受けられる学校が何校もあったのですが、見学に訪れた神戸女学院の素敵なたたずまいに感激して迷うことなくここに決めました。卒業後はヴィエールフィルハーモニーのコンサートミストレスとして十年間、厳しい指揮者として知られる宇宿允人氏の下で忙しく過ごしましたが、この時の経験はその後の演奏活動にも生かされているように思います。

オーケストラを離れて後、弦楽四重奏団を結成、昨年には二五周年を迎え、クラブ・ファンタジーの後援もいただき、ささやかながら記念演奏会を開くことが出来ましたことは感謝の気持ちでいっぱいです。

現在は母校に勤めさせていただき、週に二日あの坂道を登っています。岡田山の桜は学生時代と同じように春には美しく咲いています。中には何本かは植え替えられている様ですし、新校舎も増え、それについて中の様子も随分変わりました。ただ音楽館の前にある蘇鉄・金木犀・山茶花の木は同じらしく、昔より大きくなっています。一番の変化は、当たり前のことですが先生方の顔ぶれで、殆ど代わられてしまいました。もうひとつは服装で禁止だったGパンは一般的な通学服になっていることです。思い出してみると懐かしいことばかりです。卒業してから三五年、私もそろそろ人生の折り返し点、これ

からは他の事にも興味を持つたり、ほかの人の役にも立ちたいし、と思うのですが、今になってあれこれ弾いてみたい曲がでてきたりします。ところが体と頭が若いときのように働かず、この年齢に見合った訓練をもう一度し直さなければいけないのかな?と思ったりでなかなか難しいことがいっぱいあります。でもある人が「続ける限り一生上達するのよ」と言われた言葉を頼りにもう少し音楽となかよくしてゆきたいと思っています。

最近子供達の世界も大人の世界も不気味に変化しています。私たちは何をどこに忘れてきたのでしょうか。私も含めて老人の多い世の中になります。あまり悲観的にならず、いつまでも若々しい気持をもつてあまり頑張らず楽しく、少しは世の中にも役立っていただけらと願っております。



松永みどり弦楽四重奏団のプロフィール

ヴィエール・フィルハーモニック(現・関西フィルハーモニー管弦楽団)創設期からのコンサートマスターであった松永みどりを中心にヴィエール・フィル首席奏者4人が集まり、室内楽の分野の発展とよい音楽を一人でも多くの人々にという趣旨のもと1981年4月に結成。年6回のサロンコンサート「クワルテットのたのしみ」は今回で136回を数え、息の長い関西唯一の弦楽四重奏団である。地方公演、学校公演など活発な演奏活動を続けている。84年に大阪府の親善使節として中国上海に派遣される他、90年には八尾市の文化交流で韓国大邱市を訪問。89年関西モーツァルト協会賞を受賞。

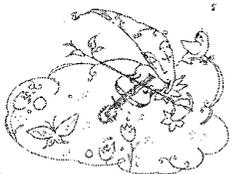


関東支部だより

M 96 大山 文字

'06年度関東支部総会は、五月二十六日、日暮里サニールにて開催されました。総会後には、会員有志九名の出演者によるコンサートが開かれ、母娘や同級生との連弾、弾き語り、独奏等、多彩なプログラムで心温まる会となりました。'07年度は、五月二十五日

(金)同ホールにて、講師に、現在国内外で御活躍中で、'02年迄女学院で教鞭も執っていたらっしゃいましたチェンバロ奏者、中野振一郎氏をお迎えし、トーク&コンサートを予定しております。会員以外の方々の聴講も可能ですので、皆様どうぞお誘い合わせの上、奮って御参加下さいませ。



2007年度 クラブファンタジー主催公開レッスン

2007年6月23日(土) 午後1時～4時 めぐみ会館1階集会所

- 1 プラームス ヴァイオリンソナタ第1番第1楽章
大本絵理(111Vn) 岡本敏子(108P)
- 2 ラベル シェーラザード
1. アジア
2. 魔法の笛
3. つれない人
今元都子(106Vo) 川原道子(109P)
田中靖子(103P)
- 3 シェーンベルク 組曲Op. 25
ブーレーズ 12のNotazionより

聴講料：1000円

講師：野平一郎先生

1953年東京生まれ。東京芸術大学大学修士課程作曲科修了
フランス政府給費留学生として、パリ国立高等音楽院で作曲とピ
アノ伴奏法を学ぶ。1995年作曲、演奏、批評といった多方面なそ
の活動に対して第13回中島健蔵音楽賞を、また「室内協奏曲第1
番」で第14回尾高賞受賞、ピアノ演奏では芸術選奨文部大臣新人
賞受賞。1994年から2000年まで、戦後の現代音楽を専門に演奏す
る室内オーケストラ「東京シンフォニエッタ」の代表を務める。
2001年1月には東京文化会館小ホールにおいて二夜連続ソロリサ
イタルを行う。特に近年ピアニストとしての評価が高まり、近
現代の室内楽作品のピアニストとして活動している。2005年4月
より静岡音楽館AOI芸術監督。

問い合わせ先：M93 三木啓子

二〇〇六年度
クラブファンタジー主催

公開講座

五月十三日(土)

「ピアノ構造論」

講師 青山一郎先生

第一部 ピアノの誕生
第二部 ペダルについて



音楽学部公開講座

公開レッスンの

お知らせ

再登録について

インターネットの普及に
よりパソコンメールを利用
する方が多くなったと思わ
れますので、登録リストを
刷新することに致しました。
聴講を希望される方は改め
てお申し込み下さい。

尚、音楽学部のホームペー
ジに情報が掲載されていま
すのでご覧下さい。

音楽学部ホームページ

<http://www.kobe-c.ac.jp/mus1cd/>

登録ご希望の方は
卒業回数、住所、氏名と
ご希望の連絡方法をお書
きの上、左記宛、
葉書でお申し込み下さい

- ・ メールアドレス
- ・ ファックス番号
- ・ 郵送

M84 蓮江久美子



クラブファンタジー
コーラスへのお誘い

現在、五四回生の方を始
めとして二〇数名で活動し
ています。

介護や子育て等に忙しい
日常を離れ、ほんのひと時
ですが、賛美歌や日本の歌
等を楽しく歌っています。
皆様、どうぞお気軽にご参
加ください。

指導・M76 桑田 絲子
日時・第二・第四金曜日
一〇時半～十二時

場所・甲東教会
お問い合わせ・M80 黒川 慎子

2006年度
音楽学部公開講座・公開レッスン

下記のとおり開催されました

1. 公開レッスン (ピアノ) 5月29日
「ロマン派の作品」
ケヴィン・ケナー先生
2. 特別講座 (ピアノ) 6月21日
「子供の領分」を通して
ドビュッシー音楽と解釈について
野平一郎先生(静岡音楽館AOI芸術監督)
3. 音楽学部100周年記念講演とミニコンサート 6月24日
「美と知を楽しむ心」
西島安則氏
(元京都大学総長、元京都市立芸術大学学長
京都市産業技術研究所所長)
4. 公開講座とレッスン (ピアノ) 6月26日
「ベートーヴェンの2楽章形式によるピアノソナタ」
～Op. 54, 78, 90を題材にして～
植田克己先生(東京芸術大学教授)
5. 公開レッスン (フルート) 9月27日
パウル・マイゼン先生
6. 公開レッスン (ピアノ) 10月11日
セルゲイ・ミルシュタイン先生

'07年度音楽学部教職員

音川 紘一 (P)	沼丸 晴彦 (合唱)	松本 薫平 (Vo)	藏田 裕行 (院・歌曲研究)	晴田 雅彦 (Vo)	非常勤講師 萩原 寛明 (P)	専任講師 村越 直子 (舞踊)	派遺職員 松浦 陽子 (Vn)	課長補佐 樋口 徹 (P)	准教授 辻井 淳 (P)	佐々木佳里 (Vo)	山上 明美 (音楽学)	若本 明志 (P)	津上 智実 (P)	田中 修二 (舞踊)	島崎 徹 (Com)	澤内 崇 (Vo)	齋藤 言子 (Fl)	西田 直孝 (Vo)	中村 健晶 (Chorch)	石黒 品 (Com)	ボリス・ベンケレン (P)	教授 佐々木佳里准教授	学生主事 石黒 晶教授	学部長 澤内 崇教授	研究科部長 若本 明志教授	音楽学部長 若本 明志教授
-----------	------------	------------	----------------	------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------	--------------	------------	-------------	-----------	-----------	------------	------------	-----------	------------	------------	----------------	------------	---------------	-------------	-------------	------------	---------------	---------------

クラブファンタジー 後援について
 クラブファンタジーでは、演奏会をされる方の後援をしております。ここに昨年度の後援状況をお知らせ致します。今後も演奏会の後援を希望される方は、後援依頼書を左記までご請求下さい。

M 87 新庄 和代

M 108 104 109 105 吉田 優子 (Per)	M 112 113 朝1 田中 智子 (Vo)	M 114 115 117 朝1 島 敏子 (P)	M 114 115 116 朝1 小池 泉 (P)	M 114 115 116 朝1 林 睦 (P)	非常勤講師 藤本真基子 (P)	事務局長 高畑 和光 (P)	教授 音川 紘一 (P)	派遣職員 清水 章代 (P)	事務局長 竹下 直美 (P)	M 116 朝117 山寄 敦子 (P)	M 114 115 116 朝1 若代 孝三 (合奏)	M 114 115 116 朝1 谿 博子 (P)	M 114 115 116 朝1 高橋 智子 (P)
----------------------------------	----------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------	----------------	--------------	----------------	----------------	-------------------------	--------------------------------	------------------------------	-------------------------------

2006年度 後援演奏会

1. 保科礼子とプロメテウス弦楽四重奏団による「室内楽コンサート」 4月9日 保科 礼子(76P)	16. クライスコスモスコンサート 10月27日 畑中 泉(121P)(院5)
2. 岩田朋子ピアノリサイタル(100P) 4月30日	17. 横山由起子ピアノリサイタル(104P) 11月5日
3. Lumière 21 Vol.5 6月8日 中野佳代子(117Cem) 板谷真以子(115Vn) 西田真由子(117Vo) 西脇 恭子(118P)(院3) 小林 春菜(117P)(院3) 谿 博子(114P)(115専)(院1)	18. 響の会 第16回作品発表コンサート 11月7日 田村須美江(96Co) 木村三奈子(96Co) 大倉 恭子(102Co) 大野 和子(104Co) 竹家富紀子(106Co)
4. 河合由夏ピアノリサイタル(118P) 6月10日	19. 小池泉ピアノリサイタル(105P) 11月9日
5. 河村泰子ピアノリサイタル ～吉松 隆作品集 Vol.1～ 6月24日 河村 泰子(112P) 黒田 育世(115Vo)	20. Lumière 21 Vol.6 11月16日 ～モーツァルト・シューマン・ショスタコフ・ヴィチメモリアルイヤーに寄せて～ 藤本真基子(112P)(113専) 谿 博子(114P)(115専)(院1) 小林 里佳(117P)(院1) 小林 春菜(117P)(院3)
6. アフタヌーンコンサート ～6月の風にのせて～ 6月29日 末廣 孝子(94Vo) 塩見 玲子(93Vo) 青島 順子(96Vo) 渡沼 雅子(97Vo) 久泉 寛美(99Vo) 黒江 薫(99Vo) 宮脇 伸子(99Vo) 永松久美子(102Vo)	21. 中出悦子チェンバロリサイタル(105P) 11月23日
7. 神戸女学院大学 新卒者によるコンサート「音の展覧会」 7月15日 稲井 茜(123P) 井上真理子(123P) 河野 友美(123P) 小林 由佳(123P) 竹田 景子(123P) 長谷川裕美子(123Vo) 増田みのり(123Fl)	22. トリオの愉しみ 11月25日 青木 聡子(119Vn)
8. ル・トレエフル チャリティーコンサート Vol.7 7月19日 出口 瑞穂(123P) 田中 聖子(123P) 小池 泉(105P) 長谷川裕美子(123Vo) 溝辺 彩乃(123Vo) 増田奈津美(121Vo) 樺田真須子(105Vo) 田中 裕絵(123Fl) 田原口安代(121Vn)	23. 三村智子ソプラノリサイタル(91Vo) 11月26日
9. 別所友希ピアノリサイタル(123P) 8月7日	24. 小幡麻紀ピアノリサイタル(111P)(112専) 11月28日
10. Solo & Solo Autumn Concert ～Nostalgia～ 9月3日 関谷 範子(96P)	25. 安藤史子フルートリサイタル(102Fl) 11月28日
11. Piano Duo Family Concert Vol.1 9月3日 小川 沙佳(122P)(院6) 山本 淳子(99P)	26. 第3回 Azalea Concert 12月16日 栗栖 珠希(119P) 小西 亜紀(118Vo)
12. 谷口敦子ピアノリサイタル 内なる響き ～モンボウとその周辺～ 9月8日、9日 谷口 敦子(106P)	27. 大嶋恵里香&工藤真史クリスマスジョイントリサイタル 12月19日 大嶋恵里香(111Vo) 工藤 真史(111P)
13. 島敏子、岡本雄一 デュオリサイタル 10月3日 島 敏子(108P)(109専)	28. 松永みどり弦楽四重奏団 結成25周年記念演奏会 12月20日 松永みどり(88Vn)
14. 海へ 10月20日 植松 睦子(116Hp)	29. Nouvelles Feuilles vol.3 “コシファン トウッテ” 1月20日 増田まどか(119Vo) 蛭川 千佳(119P)
15. 大塚紀子ピアノリサイタル(108P) 10月20日	30. 中村公美 コントラバス デビューリサイタル(120Cb)(院4) 1月30日
	31. アウラ・ジョイントコンサート vol.14 2月17日 松田真理子(91P) 横山由起子(104P) 長谷川麻由子(106P)
	32. 稲谷潤美・新井陽子 Joint piano recital 3月3日 稲谷 潤美(122P)
	33. 小野井恵梨・杉本 好 フルートデュオリサイタル 3月9日、10日 杉本 好(122Fl)
	34. 谿博子ピアノリサイタル(114P)(115専)(院1) 3月11日、20日

クラブファンタジー理事会の一年

クラブファンタジー（以下略C.F.）理事会は会員皆様のご協力のもと、下記の活動をしております。皆様のご理解を更に深めていただくためにご報告させていただきます。

〈2006年3月～2007年2月〉

（3月）

- ・クラブファンタジー賞およびハンナ・ギューリック・スエヒロ記念賞授賞式（13日 ソールチャペル）
- ・新卒業生に、C.F.入会のお知らせ、名簿・記念品を贈呈（15日 ソールチャペル）
- ・〈C.F.だより〉原稿の最終校正
- ・新人演奏会のチケット販売に協力（200枚）
- ・今年度の計画、役割分担を決定
- ・〈C.F.の夕べ〉出演者決定
- ・会計監査

（4月）

- ・〈C.F.だより〉クラス委員を通じて全会員に発送
- ・原稿執筆の御礼と写真返却（C.F.会員は原稿料無料）
- ・入会金未納の会員に督促状送付
- ・クラス委員総会・新入会員歓迎会、公開講座の準備

（5月）

- ・クラス委員総会・新入会員歓迎会（13日 めぐみ会館）
- ・公開講座「ピアノ構造論」講師：青山一郎氏（13日 めぐみ会館）

（6月）

- ・新一年生にC.F.の説明と入会案内（5日 音楽館ホール／舞踊実技室。舞踊実技レッスンの見学もさせて頂いた）
- ・クラス委員総会・新入会員歓迎会、公開講座の反省
- ・〈C.F.の夕べ〉準備
- ・次回の公開講座、野平一郎氏による公開レッスンに決定

（7月）

- ・〈C.F.の夕べ〉出演者プロフィール原稿校正ほか

（8月）

- ・〈C.F.の夕べ〉チラシ、チケット、案内葉書の校正ほか

（9月）

- ・〈C.F.の夕べ〉出演者とクラス委員にチラシ、チケット、招待状等を送付 全会員にチラシと、次回公開レッスンの案内（受講生募集）、関係の方々に招待状を送付プログラム校正

（10月）

- ・〈C.F.の夕べ〉いづみホールと打ち合わせ（19日）プログラムの最終校正 当日の役割担当決定
- ・音楽学部開設100周年記念行事に出席（7日、20日 講堂）

（11月）

- ・〈C.F.の夕べ〉開催（6日 いづみホール）著作権協会に申請、支払い 出演者に記念写真を送付
- ・2007年度〈C.F.の夕べ〉日程決定（11月12日 いづみホール）
- ・めぐみ会主催合同追悼会に出席（9日）

（12月）

- ・〈C.F.の夕べ〉の反省
- ・〈C.F.だより〉各記事担当者を決定、原稿依頼

（1月）

- ・〈C.F.だより〉原稿校正
- ・〈C.F.の夕べ〉出演者選考
- ・野平一郎先生公開レッスンの受講申し込み締め切り
- ・クラス委員変更の有無を葉書にて問い合わせ
- ・〈C.F.の夕べ〉収益より神戸女学院教育振興会に30万円を寄付

（2月）

- ・〈C.F.だより〉原稿校正
- ・〈C.F.の夕べ〉出演者選考
- ・C.F.新理事選考
- ・公開レッスン受講者決定
- ・めぐみ会「社会活動ネットワーク」との連携を図るため、担当委員を設置
- ・クラブファンタジーのメールアドレスを廃止

（その他） 音楽学部公開講座のご案内・会員の演奏会後援・会員名簿整備・永眠会員（含現、旧職員）ご遺族へのお手紙、お花料送付 etc...



2006年度クラブファンタジー賞 授与式

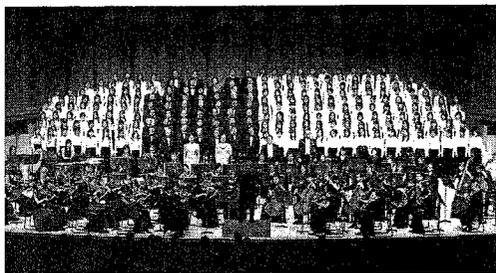
2007年3月15日 於 院長副室

2006年度〈音楽学部 定期演奏会〉

2006年12月5日(火)兵庫県立芸術文化センター大ホールにおいて下記のプログラムで行われました。

モーツァルト
歌劇「羊飼いの王様」より 穏やかな空気と晴れた日々
ソプラノ：岡田実里

ベートーヴェン
交響曲 第9番 二短調 作品125 「合唱」
ソプラノ：斉藤言子 ヌゾ・ソプラノ：西 明美
テノール：若本明志 バリトン：片桐直樹
神戸女学院大学音楽学部オーケストラ
神戸女学院大学音楽学部コーラス
神戸中央合唱団・関西男声合唱団
指揮：中村 健 合唱指導：本山秀毅



春の新人演奏会

二〇〇六年度卒業演奏会（第一二四回）は、三月二日、三日、五日、神戸女学院講堂で行われました。

本年度卒業生から選ばれた方達による新人演奏会が、四月二六日（木）午後六時よりいずみホールで、例年どおりクラブファン

タジー協賛で行われます。クラス委員を通じて入場券を依頼しておりますので、皆様ご協力お願い致します。（入場料一〇〇〇円）

また、大学院音楽研究科修士から選ばれた方達による第六回修士課程修了披露演奏会が、四月十二日（木）午後七時より兵庫県立芸術文化センター小ホールで行われます。（入場料一〇〇〇円）

音楽学部新人演奏会出演者 4月26日(木) いずみホール

(P) 城 沙 織	(Vn) 上 田 朝 子
川 口 由美子	(Fl) 上 原 梨 絵
三 村 祥 子	山 上 綾 華
中 村 友 美	(Cl) 木 佐 貫 史 織
白 谷 美 帆 子	(Vo) 周 防 彩 子
(Org) 川 勝 さ ち こ	荻 野 育 子

東京読売新人演奏会 5月5日(土) 東京文化会館大ホール

(P) 城 沙 織

関西新人演奏会 5月12日(土) いずみホール

(Vo) 周 防 彩 子 (Vo) 荻 野 育 子

大学新卒推薦音楽会 4月22日(日) 西宮市民会館アミティホール

(P) 中 村 友 美 (Vo) 谷 田 奈 央

ヤマハ管楽器新人演奏会 6月3日(日) ザ・フェニックスホール

(Fl) 今 井 さ つ き

大学院音楽研究科修士披露演奏会 4月12日(木)

兵庫県立芸術文化センター小ホール

(P) 平 賀 理 絵 (P) 小 川 沙 佳

(Vo) 羽 手 村 紗 織

会費納入について

毎年千円ずつの年会費を西暦年号末尾の「5」の年と「0」の年に五分をまとめて納入し、納入期間は五十年とする

二〇〇五年度納入の会費未納の方にはお知らせ致しますので、お振り込み下さいませようお願いいたします。

住所変更について

住所等変更があつた場合はめぐみ会とは別に、必ず左記までお届け下さい。
(苗字変更の場合は、ふり仮名をお願いします)

M 97 甲谷 京子

開設していましたメールアドレスは、迷惑メールが殺到しておりますので三月をもって廃止致しました。ご了承ください。

2007年度 クラス委員

- | | | | | | | | | | | | |
|----|----|------|-------|------|------|-----|------|----|----|----|-----|
| 53 | 藤土 | 浅原山村 | 那山山伊飯 | 三深福梅 | 松湯魚富 | 斎木廣 | 玉橋遠二 | 小口 | 船分 | 奥横 | 水中宮 |
| 54 | | | | | | | | | | | |
| 56 | 村居 | 海 | | | | | | | | | |
| 58 | | | 本地 | 波村 | 本丹 | 尾輪 | 田田 | 舍 | 本 | 浅住 | 田藤 |
| 59 | | | | | | | | | | | |
| 60 | | | | | | | | | | | |
| 61 | | | | | | | | | | | |
| 62 | | | | | | | | | | | |
| 63 | | | | | | | | | | | |
| 64 | | | | | | | | | | | |
| 65 | | | | | | | | | | | |
| 66 | | | | | | | | | | | |
| 67 | | | | | | | | | | | |
| 68 | | | | | | | | | | | |
| 69 | | | | | | | | | | | |
| 70 | | | | | | | | | | | |
| 71 | 新 | | | | | | | | | | |
| 72 | | | | | | | | | | | |
| 73 | | | | | | | | | | | |
| 74 | | | | | | | | | | | |
| 75 | | | | | | | | | | | |
| 76 | | | | | | | | | | | |
| 77 | | | | | | | | | | | |
| 78 | 新 | | | | | | | | | | |
| 79 | | | | | | | | | | | |
| 80 | | | | | | | | | | | |
| 81 | | | | | | | | | | | |
| 82 | | | | | | | | | | | |
| 83 | | | | | | | | | | | |
| 84 | 新 | | | | | | | | | | |
| 85 | | | | | | | | | | | |
| 86 | | | | | | | | | | | |
| 87 | | | | | | | | | | | |
| 88 | | | | | | | | | | | |
| 89 | | | | | | | | | | | |

編集後記
ファンタジーだよりをお届け致します。今年には音楽学部開設百周年にあたり、ファンタジーだよりでも百周年の特集を組みました。中でもアメリカ、シカゴから来院された那須美恵子先生とお会いできました事は、百周年をより印象深いものとし、今後も記憶の中で色褪せる事はないでしょう。舞踊科も新設されそのエネルギーも日毎増して、私達にまで届きそうです。百年前とそしてこれからの百年。伝統と一方では進化する音楽学部に誇りを持ち、見統

本年度役員

- 会 長 M 67 岡田 晴美
副会長 M 91 植田あさ子
理 事
M 80 森本 宏美 M 84 蓮江久美子
M 87 新庄 和代 M 93 三木 啓子
M 94 末廣 孝子 M 95 藤田 知子
M 96 関 桂子 M 96 田島美奈子
M 97 甲谷 京子
監 事
M 86 稲村 邦子 M 90 岩村 由紀